

あさひ

## 地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取組んで いきたい 項目	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	3	
理念に基づく運営	1 理念の共有	1 理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)		自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1 外部評価1	<b>地域密着型サービスとしての理念【外部評価】</b> 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	あなたに寄り添ったあなたらしい暮らしを	0	
		2 外部評価2	<b>理念の共有と日々の取り組み【外部評価】</b> 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員には「さざん家は暖かい手で、温かい目線で、柔らかい言葉で、和やかな態度で接します」という実践目標がある。	0	
	3	<b>家族や地域への理念の浸透</b> 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	毎月発行している「さざん家だより」には必ず掲載している。	0		
	2 地域との 支え合い	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)		自己評価3項目・外部評価1項目	0	
	4	<b>隣近所とのつきあい</b> 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近所の方からおすそ分けを貰ったり、近所の子供達がお菓子を貰いに来たりといった近所付き合いがある。また、畑作業や庭木の手入れの手伝いをしてくれる人もある。	0		
5 外部評価3	<b>地域とのつきあい【外部評価・重点】</b> 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		利用者が地域デイサービスに参加させてもらうこともある。また町内会の文化祭にも毎年出展し、当日には見学に行く。回覧板に「さざん家だより」を載せてもらっている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地 え域 合と いの	6	<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	町内会に申し込んではあるが、まだ実現していない	0	
		3	理念を实践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	0	
	3 理念を 実践す るため の制度 の理解 と活用	7 外部 評価 4	<b>評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】</b> 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年、評価で指摘された点はおおむね改善している。	0	
		8 外部 評価 5	<b>運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎の会議では出席者からの意見・提案などを次回までには報告できるように努力している。また評価の報告は必ずしている。	0	
		9 外部 評価 6	<b>市町村との連携【外部評価・重点】</b> 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	筑後市GH協議会を昨年より設立。市役所からの監査・指導を3月に受けて、改善された点を実行した。また「筑後市2015年の高齢者福祉を考える委員会」にもホーム長が出席している。	0	
		10 外部 評価 7	<b>権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】</b> 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在、権利擁護を1人利用中である。契約時には必要と思われる人にはパンフレットを見せて説明し、コピーを渡している。	0	
		11	<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	月刊誌福祉ニュースを回覧し、気になる記事などは貼り出しなどしている。スタッフミーティング時にも、年に数回は話し合うようにしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0	
理念に基づく運営	4 理念を 実践す るため の体制	12	<b>契約に関する説明と納得</b> 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に十分時間をかけて説明している。またお支払いを受ける時など、いつでも不安・疑問などの相談を受ける旨の説明をしている。	0	
		13	<b>運営に関する利用者意見の反映</b> 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者が表現できにくい認知症高齢者である為、日常の顔色、態度などの変化を把握するようスタッフ間で注意している。合同レクをする時もあるのでユニットに関係なくスタッフは観察し、家族からも利用者に聞いてもらっている。	0	
		14	<b>家族等への報告【外部評価・重点】</b> 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	日常の暮らしぶりが分かる写真を掲示している。また請求書と一緒にさざん家だより、本人の写真を送付し、預かっている小口現金については年に2回の承認をしてもらっている。異動は来所時に報告するようにしている。また各利用者には担当者がいる。	0	
		15	<b>運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】</b> 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を年に2回、行事後に開いている。家族会の半分の時間を家族だけにし、不満や苦情が出やすいように配慮している。解散後、代表から管理者がホーム長が聞いて幹部会、スタッフミーティングで必ず討議している。	0	
		16	<b>運営に関する職員意見の反映</b> 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	問題が生じた時やスタッフミーティング時・忘年会などの時に機会を設けるようにしている。対応できることは反映している。	0	
		17	<b>柔軟な対応に向けた勤務調整</b> 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	管理者が入居者の状態を考慮し、生活の流れを支援するためにこれに即したローテーションを調整し勤務を組んでいる。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基 づく運 営	4 理 念 を 実 践 す	18	<b>職員の異動等による影響への配慮【外部評価】</b> 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者が顔を覚えられるような期間を1ヶ月とし、馴らし期間としている。	0	
		5 人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)			自己評価6項目・外部評価4項目	3
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19	<b>人権の尊重【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	もともと性別や年齢等を理由に排除していない。スタッフの能力を活用し生き生きと勤務して貰う事は事業所にもメリットになることである。資格UPにも配慮している	0	
		20	<b>人権教育・啓発活動【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	採用時の研修期間や年間を通じてのスタッフ勉強内容にも必ず入れるようにしている。	0	
		21	<b>職員を育てる取り組み【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の案内や、また参加するように促している。	1	防火管理者研修を全員に受けさせたい。今年度はさざん家として4人の受講と資格取得を目指している。
		22	<b>同業者との交流を通じた向上【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	筑後市GH協議会を昨年より設立しているので、研修会等で会う機会がある。	1	管理者の相互訪問を実現したい
		23	<b>職員のストレス軽減に向けた取り組み</b> 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	さざん家でソフトバレーチームを結成している。また懇親会としてボーリング大会をしている。施設と離れた場所にスタッフルームを設置している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	<b>向上心を持って働き続けるための取り組み</b> 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	出来るだけ将来に役立つような資格を取得するように、常々口に出して話している。また、取得の為にローテーションにも配慮している。	1	将来の為にも、若いスタッフには介護福祉士を目指して勉強してもらいたい
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1	相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	0	
	1	25	<b>初期に築く本人との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	情報提供書をスタッフ全員でよく読み、また本人との事前面接に時間をかけている。入居前には、出来るだけ本人の見学をしてもらうようお願いしている。	0	
		26	<b>初期に築く家族との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族からの情報聴取に時間をかけて、信頼して貰える様に努力している。また、来所時には必ずホーム長・管理者・ケアマネージャー等が面談できるようにしている。	0	
		27	<b>初期対応の見極めと支援</b> 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	精神科への受診を勧め、グループホーム対応かどうかの診断をもらうよう勧めている。また共用型認知症デイサービスの利用では、との提案をする場合もある。	0	
		28	<b>馴染みながらのサービス利用【外部評価】</b> 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族がさざん家見学を必ずして貰うようにしている。本人見学の際にはお茶や、レクリエーション等を一緒にしてもらい、雰囲気に馴染めるよう配慮している。家族だけの場合には利用者やスタッフの雰囲気を特に注意して見学するよう話している。	0	
	2	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価6項目・外部評価1項目	0	
	係り2 継続と 新たな 関係づ くへの までの 支援	29	<b>本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	スタッフは利用者と一緒に過ごす談話中に、野菜の作り方や昔の歌などを習うこともある。また、スタッフが手が足りない時には助けて貰う事もある。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	<b>本人を共に支えあう家族との関係</b> 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	スタッフは家族からの本人情報を参考にしながら、支援するよう努力している。また、家族からもたらされる他の家族情報も利用者介護には必要不可欠となるので、家族との良好な関係は大事であると考えている。	0	
		31	<b>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</b> これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者と家族が良い関係であることが、本人の精神安定につながり認知症の進行防止にもつながると考え、本人の家族への思いや愛情を面会時に話し、反対に、家族の利用者への思いや愛情を本人に事あるごとに話して、より良い関係が維持できるよう配慮している。	0	
		32	<b>馴染みの人や場との関係継続の支援</b> 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅への外泊・外出を、また面会を喜んでいた事を伝えることにより、出来るだけ家族に面会に来て貰える様お願いしている。友人・知人の面会も歓迎している。	0	
		33	<b>利用者同士の関係の支援</b> 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	座席の変更や作業を一緒にするなど、和を保ったり会話が続くような働きかけを心がけている。	0	
		34	<b>関係を断ち切らない取り組み</b> サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他施設への転所した人も、面会に行ったりしている。入院した利用者は、退院するまで面会にスタッフ全員が交代で行ったりすることもある。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	0	
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
	1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	<b>思いや意向の把握【外部評価】</b> 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	スタッフは、利用者の行動や言葉から、一人ひとりの思いや希望、意向の把握に努めている。本人が表せない困難な場合には、家族から希望を聞くなどしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	<b>これまでの暮らしの把握</b> 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	情報提供書をスタッフ全員でよく読み、また本人との事前面接に時間をかけて介護の方針を検討している。	0	
		37	<b>暮らしの現状の把握</b> 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	担当者を決め、一人ひとりのプランを管理者、ケアマネージャー等と話し合っ、都度変更している。また、スタッフ全員が参加するスタッフミーティングでも意見や注意を貰うこともある。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)		自己評価3項目・外部評価2項目	0	
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38	<b>チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアプランの作成には、本人・家族の希望や、担当者・スタッフの情報を出し合い計画作成に反映させている。	0	
		39	<b>現状に即した介護計画の見直し【外部評価】</b> 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居時には必ず2週間後に見直しを行い、検討する。その後は3ヶ月を目途に評価しなおす。状態の変化があればその都度変更していく。	0	
		40	<b>個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランの作成に担当者も参加し、作成後は個人別のケース記録の最初に綴じて、スタッフ全員で目を通すようにしている。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)		自己評価1項目・外部評価1項目	0	
	3 柔軟な支援	41	<b>事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】</b> 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人の通院や地域デイサービスへの送迎などそれぞれに柔軟に対応している。入院した場合には『家族』と考え、こまめに見舞いを行い早期退院に向けて家族を情報交換をしている。また医療連携体制をとっているため、月2回の往診を受け、重度化しないよう看護師を職員として採用している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	0	
		42	<b>地域資源との協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	筑後市地域包括センターまごころ相談員の受け入れ、ボランティアの受け入れ、消防署の立ち入り検査、町内会文化祭への出展・見学、大谷短大からの研修受け入れを行っている。	0	
		43	<b>他のサービスの活用支援</b> 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	介護保険を利用したサービスは受けられない為、地域デイサービスのみの利用となるので、参加する場合は送迎支援をしている。	0	
		44	<b>地域包括支援センターとの協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加してもらっている。また、まごころ相談員の毎月の見学、利用者との懇談もしてもらっている。	0	
		45 外部 評価 21	<b>かかりつけ医の受診支援【外部評価】</b> 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医がある場合には、医療連携医に優先して受けることができる旨を説明している。	0	
		46	<b>認知症の専門医等の受診支援</b> 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	医療連携医、また精神科病院の認知症専門医の受診に、ケアマネージャーや管理者等が付き添い、説明などを受けている。	0	
		47	<b>看護職との協働</b> 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師を常勤職員として雇用している。毎日、医療連携医との連絡、報告をしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	<b>早期退院に向けた医療機関との協働</b> 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	スタッフが出来るだけ面会したり、家族の希望、病院担当医師等の説明で早期に退院できるようにしている。	0	
		49	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や看取りの方針をさざん家独自で作成し、早い段階で本人や家族の意思を確認、かかりつけ医・スタッフなどで話し合いを行い態度を一致させるようにしている。また、状態変化時毎に家族・本人の意思を確認し直し、本人らしい最期を迎えられるよう、スタッフ全員で方針を共用するようにしている。	0	
		50	<b>重度化や終末期に向けたチームでの支援</b> 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	「出来る事、出来ないこと」を検討し、医師と早めに相談し変化に備えている。	0	
		51	<b>住み替え時の協働によるダメージの防止</b> 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入居前には担当者間で話し合いを持つようにしている。本人には納得して入居できるように、家族に説明をして貰うようお願いしている。また入居後には出来るだけ家族に面会に来て貰いスタッフを交えて会話し馴染めるように努めている。他施設へ転所された利用者には、他施設の意向を伺い、許可されれば出来るだけ面会に行くようにし	0	
	その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	0
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	0	
		(1)	一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	0	
		52	<b>プライバシーの確保の徹底【外部評価】</b> 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの違いを尊重し、さりげない介助や私的な場所での礼儀、本人の返答能力に応じた問いかけをするようにしている。本人が思い込んでいる事を否定しないように心がけて接している。またスタッフには雇用時に誓約書に署名、守秘義務を徹底させている。	0	
53	<b>利用者の希望の表出や自己決定の支援</b> 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	その日に着る服等の選択など、何かをする場合には「・・・しますか」「・・・して良いですか」などと問いかけを行い、選択困難な利用者には「はい」「いいえ」でも意思表示ができるような言葉を使う等に努めている。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	<b>日々のその人らしい暮らし【外部評価】</b> 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩に出かけたり、昼寝をしたり、テレビを観たりなど利用者の意思をできるだけ尊重している。また、就寝時間も本人に任せて早い人も遅い人もいる。朝も朝寝したい人には朝食・昼食を加減して貰ってもらったり、昼寝の人にはおやつを抜かして甘いミルクティーだけにして夕食にするなど個人対応をしている。家庭的な雰囲気づくりに留	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		55	<b>身だしなみやおしゃれの支援</b> その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	毎月、訪問の理容・美容を利用し本人や家族の希望で整髪している。また、家族が髪を切られる人もいたり、家族と外出時に整髪される人もいる。	0	
		56 外部評価 25	<b>食事を楽しむことのできる支援【外部評価】</b> 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	じゃがいもの皮むき、フキの筋取り、豆の莢むきをして貰ったり、さつまいも掘り、じゃがいも掘り、ソラマメの収穫、みかんちぎり等をして貰っている。また、スタッフも同じテーブルで3食食べるので茶碗を食べやすいよう動かしたりと介助している。	0	
		57	<b>本人の嗜好の支援</b> 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒は本人・家族が希望すれば提供することも出来るが、今のところ希望者はいない。おやつは出来るだけスタッフ手作りで一緒に食べており、飲み物も希望や好みで用意する場合もある。	0	
		58	<b>気持ちよい排泄の支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンの把握と、下着やおむつも利用者の心身状況・昼夜別に使い分けをしている。また起立訓練や下肢筋力アップなどの排泄自立に向けた取り組みも積極的に行っている	0	
59 外部評価 26	<b>入浴を楽しむことができる支援【外部評価】</b> 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	午前・昼食後にバイタルチェックし入浴可能かどうかを判断している。また、本人の希望で入浴時間帯や入浴の長さ、回数などを決めている。個別入浴で、スタッフは必要な時に介助をするようにして本人能力の維持向上を図っている。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	<b>安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中にお日様の当たる外気浴・散歩・外でのレクをしたりと体内時計の調整ができるよう努めている。また自然に入眠して貰えるよう夕食後には静かな環境作りや雰囲気作りをスタッフで検討し実行している。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	0	
		61 外部 評価 27	<b>役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物たたみ、野菜の下ごしらえ、食器拭き、畑や広場の草取り等さざん家の仕事を手伝って貰っている。また歌好きが多いので歌番組観賞、スタッフと一緒にカラオケ、各自に合わせた計算や数並べなどを行っている。広場でのお茶タイムも楽しみの一つである。	0	
		62	<b>お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	原則、お金を所持しないように本人・家族にお願いしている。ただし、買い物にお連れして本人が介助しながらではあるが支払える場合には、本人小口現金から持ち出してレジ支払いをして頂く等の場を作っている。	0	
		63 外部 評価 28	<b>日常的な外出支援【外部評価】</b> 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	スタッフの食材買い物に連れて行ったり、散歩は1人で、または2, 3人で定期的に行っている。またさざん家の広場で気晴らしをしたりと出来るだけ支援している。	0	
		64	<b>普段行けない場所への外出支援</b> 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族と一緒に温泉一泊旅行に行く利用者もいる。また、家を見たいと言われる利用者には車で見学につれて行ったり、ユニット別に、また2ユニット一緒に花見、コスモス見学、外食などを行っている。	0	
		65	<b>電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	残念ながら手紙を書ける利用者はいないが、電話は家族が承諾すればかけてもらっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	<b>家族や馴染みの人の訪問支援</b> 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	いつでも受け入れる事を、本人や家族に話している。また、実際に来所してもらっている。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	0	
		67	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	スタッフ全員が身体拘束をしない、出来ないことを理解している。ただし本人の身体生命や他の利用者に危険が及ぶ可能性があり、他の介護方法が見つからない場合にはスタッフ・家族間で話し合い、家族の同意を得てやむを得ず行うこともある	0		
		68	<b>鍵をかけないケアの実践【外部評価】</b> 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や玄関、非常口等の出入り口には、日中施錠していない。利用者一人ひとりの習慣・行動パターンを把握し、スタッフの見守りや連携協力で鍵をかけないケアに取り組んでいる。また、玄関にはチャイムや鈴で対応もしている	0		
		69	<b>利用者の安全確認</b> 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	居室のドアを閉める、ドアロックの励行、入室する際の本人了解などプライバシー確保に留意している。また所在や様子等スタッフ間で連携して把握し安全に配慮している	0		
		70	<b>注意の必要な物品の保管・管理</b> 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	手の届かない所、見えない所、管理できる場所での保管する等の周知・徹底を図っている。	0		
71	<b>事故防止のための取り組み</b> 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	スタッフ勉強会やマニュアルの取り決め、また防火訓練や消火訓練を通じて事故防止に取り組んでいる。	0				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	年間スケジュールに項目を入れて訓練、勉強会をする等習熟を図っている	0	
		73 外部評価 30	<b>災害対策【外部評価】</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ホーム内のどこに居るかで避難経路が決められており、避難場所も確保されている。防火管理者が「夜間緊急マニュアル」を作成し、昼夜別々の誘導方法も決めている。近所への協力依頼も隣組にお願いしている。	0	
		74	<b>リスク対応に関する家族等との話し合い</b> 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	契約時や面会時に家族毎に管理者・ケアマネージャーが説明し、スタッフ間で対応策を統一している。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	<b>体調変化の早期発見と対応</b> 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	些細な変化・サインを見逃さない見守りを指導し、記録を録る様に徹底している。また気付いたスタッフは看護師に報告、看護師から医師に報告し指示を仰ぐことにしている。またその事は指示の有無に関わらずケース記録、連絡ノートに記載し周知徹底を図っている。	0	
		76	<b>服薬支援</b> 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方された内服薬は看護師が確認し、スタッフが服用させている。使用している薬の目的・副作用、用法や用量については薬の説明書を各人のケース記録に添付し不明な点は看護師に確認する。また「薬辞典」で自己学習も促している。毎月のスタッフミーティングの場を利用して勉強もその都度行っている。	0	
		77	<b>便秘の予防と対応</b> 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	利用者のケアプランに基づき便秘予防に努めている。また予防として十分な水分摂取・散歩（歩行）・繊維質の芋をおやつに多用するなどに留意している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	<b>口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	各自の歯の状態や能力に合わせた口腔ケア介助を行っている。また歯科受診にも付き添うなどしている。	0	
		79 外部評価 31	<b>栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士に一人ひとりの心身状態に合わせたカロリー計算をして貰い、食事量を加減している。また献立も福祉食を使い調理している。食事摂取量・水分摂取量はチェック表に記録しており、スタッフは利用者の栄養摂取量把握に努めている。	0	
		80	<b>感染症予防</b> 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	マニュアルがありそれに従って実行している	0	
		81	<b>食材の管理</b> 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	かならず冷蔵庫に保管したり、食器・調理器具の乾燥機使用などを行っている。また、台所、調理器具等は毎日、隔日、週に1度等と消毒マニュアルがあり実行・記録している。	0	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)		自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	0	
	2 生活の環境づくり その人らしい暮らしを支える	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)		自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	0	
		82	<b>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</b> 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	平屋造りで、周囲の風景に違和感を与えないような外観と思える。また生垣や低いフェンス、畑や広場など開放的な雰囲気作りを心がけている。	0	
		83 外部評価 32	<b>居心地のよい共用空間づくり【外部評価】</b> 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や居間には季節の花を飾るように留意し、廊下には利用者の行事写真や日常写真を飾っている。利用者に不快な音は周囲が農地なので入って来ないし、非常口から見える風景で季節感も味わう事もできる。通り過ぎる風で気持ち良い空間になっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	<b>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b> 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食卓用テーブルの配置や、ソファ、イス等で一人で過ごしたり、2,3人で過ごしたりの配慮を常にしている。また畳の居間で昼寝をする利用者もいる。	0		
		85 外部評価 33	<b>居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】</b> 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室は基本的には洋室造りであるが、希望に合わせて、また心身状態に合わせて畳を入れ和室に出来る様になっている。本人の居室で使用するものは家からの持ち込みも出来る等各自の希望で自由である。	0		
		86	<b>換気・空調の配慮</b> 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎日換気の為に窓を開け、臭いが気になる利用者の部屋は特に換気に努め、洗剤、臭い消し、お茶がら等で対処している。各居室には温湿度計を設置、毎日部屋環境に留意している。また、加湿器、除湿機、清浄機などを用いている。冬期には洗濯物を夜間に干すなど乾燥には特に注意している。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	<b>身体機能を活かした安全な環境づくり</b> 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	段差のない平屋造りであり、ユニット内は直線になっており利用者の見守りが容易になっている。壁やトイレ、浴室には当然ではあるが手すりを設けている。	0		
		88	<b>わかる力を活かした環境づくり</b> 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	家族の協力で、居室内に家族写真を貼ったり、日めくりカレンダーを居室内、共用スペースに吊ったりしている。またトイレの表示、風呂の表示を大きくしている。部屋を間違えないように利用者の顔写真をドアに貼ったりもしている。新聞を読むことにより、社会への関心を持つよう配慮している。	0		
		89	<b>建物の外周りや空間の活用</b> 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	スロープで物干し場に出たり、広場に歩いて行ったりして外気浴・お茶・食事を楽しみ、草取りをしたりと利用者が楽しめるよう配慮している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	1	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。